

平成 26 年 1 月 22 日
独立行政法人 港湾空港技術研究所
国土交通省 国土技術政策総合研究所

フィリピン台風 Haiyan 災害に関する
第 2 次現地調査について

平成 25 年 11 月 8 日、台風 30 号 (Haiyan、フィリピン名 Yolanda) が引き起こした高潮によって、フィリピン中部では、犠牲者が 6 千名を超える大きな被害が発生しています。

国土交通省所管の独立行政法人港湾空港技術研究所は、フィリピン国運輸省 (Republic of the Philippines Department Of Transportation And Communications) の要請を受け、昨年 12 月 3 日(火)から 12 月 7 日(土)の期間で現地被害調査に職員をレイテ島に派遣しました。この度、国土交通省国土技術政策総合研究所と共同で高潮の専門家を派遣し、第 2 次の現地調査を実施致しますのでお知らせ致します。

本調査では、台風の経路にあたり被害が大きかったと推測されるにもかかわらず情報が少ないパナイ島 (レイテ島の西側に位置する) における港湾の被害状況を中心に調査を行う予定です。また、フィリピン国運輸省等の防災関係者を対象とした「防災 (沿岸) セミナー」を開催する予定です。

記

<調査概要>

期 間 平成 26 年 1 月 28 日(火)~平成 26 年 2 月 4 日(火)
調 査 地 パナイ島 北部地域 (ロハス周辺の港湾)
調査内容 港湾及び港湾周辺の被害状況の確認、住民への聞き取り調査
調査団員 独立行政法人 港湾空港技術研究所

海洋情報研究領域	領域長	河合 弘泰
海洋情報研究領域	研究官	藤木 峻
アジア・太平洋沿岸防災研究センター	主任研究官	本多 和彦
国土交通省 国土技術政策総合研究所		
沿岸海洋・防災研究部	沿岸防災研究室長	浅井 正

【問い合わせ先】

独立行政法人 港湾空港技術研究所 企画管理部 企画課 課長 福元 正武	(代表) 046-844-5010 (内線 5140)、(直通) 046-844-5040
アジア・太平洋沿岸防災研究センター センター長 栗山 善昭	(代表) 046-844-5010 (内線 5200)、(直通) 046-844-5052
国土交通省 国土技術政策総合研究所 企画管理部 企画調整課 課長 鮫島 和範	(代表) 046-844-5006 (内線 3130)、(直通) 046-844-5019
沿岸海洋・防災研究部 沿岸防災研究室 室長 浅井 正	(代表) 046-844-5006 (内線 3230)、(直通) 046-844-5024